

令和7年

第8回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

令和7年11月28日

令和7年第8回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【学校適正配置準備室】

◇学校適正配置計画の策定について

11月7日、今年度2回目となる学校適正配置検討委員会を開催し、学校適正配置計画(案)について検討しました。委員会では10月に開催した市民意見交換会などを踏まえ、小学校については、令和10年度に神代・西明寺・桧木内の3校で現西明寺小学校校舎へ統合する案に賛成する意見でまとまりました。中学校については、令和11年度に神代・西明寺・桧木内の3校、または生保内を含む4校で現神代小学校校舎へ統合する2案に絞り込む意見でまとまりました。最後の調整課題となる中学校統合の組合せについては、今後、生保内学区の保護者等と丁寧に意見を交わしたうえで、来年2月を目処にアンケートを実施し、その結果をふまえ最終的な検討を行うこととしました。

11月14日、生保内学区の園・小・中の保護者と生保内中学校の方向性に関し、意見交換を行い10人が参加しました。教育委員会からは、中学生は社会性を身につけ、将来の可能性を広げる重要な成長時期であり、多様な考えを持った仲間と交流し、部活動や学校行事など様々な選択肢があることが望ましいこと。そのためには、一定の人数規模が必要で、10年先を見通した場合、4校統合が望ましいとの考えを述べました。出席者からは、多くの仲間と学べる環境が望ましいことに理解を示す一方で、中学校が無くなることで地域が衰退していくことへの不安が大きく、地域の将来ビジョンがないと統合に賛成できないなどといった意見がありました。

11月26日には総合教育会議を開催し、市当局と計画(案)について協議しました。中学校統合の組合せについては、生保内学区の保護者等と丁寧に話し合ったうえで、慎重に検討していくことを確認しました。

12月には生保内小学校PTAで再度保護者と意見交換を行うほか、市内全5学区で一般市民にも計画(案)を提示し、意見交換を行う予定です。

これから大詰めの作業となりますが、市民の皆様と向き合い丁寧に合意形成を図り進めてまいります。

【学校教育課】

◇マーチングバンドにおける児童の活躍について

11月8日に開催された第54回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会マーチングバンド部門小学生の部において、角館小学校金管バンドドリームハーモニーが金賞を受賞しました。この結果、12月6日にさいたまスーパーアリーナ(さいたま市)で開催される全国大会に出場します。

◇秋田活性化中学生選手権秋田県大会について

11月15日に秋田市で開催された第6回秋田活性化中学生選手権秋田県大会において、生保内中学校が審査員特別賞を受賞しました。ドライブイン「峠の茶屋」の名物おでんを題材に活性化策を考案し、「人生の峠を越える勝負メシ」として若者に親しんでもらうことや、田沢湖畔でおでんイベント「O-den グランプリ」を開催することを提案しました。

【北浦教育文化研究所】

◇台湾交流について

11月13日に、角館中学校に台中市の惠文高級中学の生徒22名を迎え、2年生を中心に交流を行いました。訪問した22名は、角館中の生徒と一緒に英語、美術、体育の授業を受け、手踊りやお囃子の体験をする中で、お互いにすっかり打ち解けた様子が見られました。お別れの際には、角中生からの盛大な「台湾」コールで見送られ、両校の絆が深まりました。

また、11月16日から20日まで、生保内中学校生徒6名が台北市を訪問しました。北投国民中学との学校交流では、お互いの学校の紹介や、情報、英語、体育、ダンスの授業を体験した後、北投中学の生徒に北投温泉博物館を案内してもらい、北投石について学びました。また、故宮博物館などの見学をし、見識を深めました。報告会は、12月25日に生保内中学校で行われます。

今後も、相互訪問を通して両校の交流を深め、国際理解教育を進めていきます。

◇日本学生科学賞について

角館中学校科学部が、読売新聞社主催の第69回日本学生科学賞秋田県審査において、秋田県知事賞を受賞しました。また、中央予備審査において、各県代表150校の中から上位20校に入り、12月13日に行われる中央最終審査への進出が決まりました。中央最終審査はオンラインで行われ、結果は12月19日に日本科学未来館(東京都)で行われる表彰式で発表されます。

◇「せんぼく はたらく BOOK」の発行について

地域を担う若者を育む「ヤマメ・サクラマスプロジェクト」の一環として昨年度発行した「仙北市夢百科事典 せんぼく はたらく BOOK Vol.1」に続き、今年度は「Vol.2」を12月に発行いたします。Vol.2 のテーマは「つくる・つたえる」となっており、様々な職業の13人について掲載しています。初版発行予定部数は400部で、市内小中学校及び県立学校、県内市町村教育委員会に配付します。

仙北市で働く人々を取材し、強く魅力的に生きる姿を伝え、小中学生が仙北市の魅力に気付いたり、働くことや仕事についての考えを深めたりすることをねらいとしており、Vol.1 の発行以降、さらに「仙北市を舞台に故郷の未来をつくる」ことを夢・志とする子どもが増えてきているのを実感しております。

今後も、「ヤマメ・サクラマスプロジェクト」の三本柱である、職場体験学習・企業説明会・はたらくBOOK の充実に向けて取り組んでまいります。

【総合給食センター】

◇仙北市学校給食調理等業務委託指名型プロポーザルについて

11月14日、学校給食調理等業務委託指名型プロポーザルの審査会を

行いました。審査会では、2者からの提案があり、提出された企画提案書をもとに、衛生管理の徹底や食物アレルギーへの的確な対応など、児童生徒に安全で安心な給食を安定的に提供出来る技術と知識、実績を兼ね備えた事業者を選定いたしました。今後、契約に向けた協議を重ね、今年度中の契約締結を予定しています。

【生涯学習課】

◇秋田県生涯学習奨励員協議会創立50周年記念事業における 特別表彰の受賞について

秋田県生涯学習奨励員協議会創立50周年記念事業に伴い、仙北市からは、生涯学習奨励員の会会長の赤川和子さんが特別表彰を受賞しました。

赤川さんは、平成20年より生涯学習奨励員として地域に根ざした生涯学習の推進・充実に大きな役割を果たし、令和元年度からは会長として活動をけん引し、市民の学習活動の奨励において顕著な功績が認められました。

現在は会の自主事業として市内小中学校に出向きモルックでの交流を深める活動に力を入れています。今後も更なる活躍に期待しています。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

仙北市市制20周年を記念した文化祭は、各地域の賑わいも大切にし、3地区と市民会館を会場に開催しました。

角館地区は10月11日、12日の両日、角館交流センターで、田沢湖・西木地区は11月1日、2日の両日、田沢湖・西木それぞれの総合開発センターで、11月1日は市民会館で合唱や舞踊^{ぶよう}、三味線、手踊りなど市内で活動している13団体が、日頃の成果を披露し、多彩な芸能発表が繰り広げられました。

また、オープニングでは、だしのこ園の園児によるステージいっぱいの元気

な演技を皮切りに記念の文化祭を盛り上げてくれました。

期間中は、各地区の独創的な作品展示のほか、市民会館では、仙北市での展示が初となる今年度の秋田県美術展覧会の入賞・入選作品41点を展示し、ご来場された方々を魅了したほか、ものづくり体験コーナーや農産物・加工品などの販売も行われ、各地域に賑わいをもたらしました。

今後、市民の方々が文化活動によって心が豊かになり、今後の人生に彩りをもたらすような学習サポートを進めてまいります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇文学顕彰碑の除幕式について

11月26日、総合情報センター前庭において「仙北市文学顕彰碑」の建立を記念し、除幕式を開催いたしました。当日は顕彰碑寄贈者である河正雄氏をはじめ、顕彰作家のご遺族からもご臨席いただき、盛大に執り行されました。

この文学顕彰碑は、本市にゆかりのある芥川賞・直木賞受賞作家である高井有一氏、渡辺喜恵子氏、千葉治平氏、西木正明氏の4人の文学者に光を当てて造られたものです。これを機会に多くの市民の皆さんに碑をご覧いただき、地域に息づく文化の香りを感じてもらえば幸いです。

【平福記念美術館】

◇企画展「思い馳せる100周年－旧制角館中学校創立100周年記念展－」について

平福記念美術館では10月1日（水）から11月12日（水）の期間、企画展「思い馳せる100周年－旧制角館中学校創立100周年記念展－」を開催しました。会期中の11月2日（土）には美術館を会場に角館高校創立百年祝賀事業実行委員会主催による記念の講話会・座談会も開催されました。会期中の入館者数は1,088人でした。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案し

ております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げ、教育行政報告といたします。